

情勢報告

さらなる収量、品質向上を目指して！－中芸地区環境制御技術勉強会を開催－



実証ほの成績を説明する普及指導員

5月12日、JA土佐あき奈半利支所において中芸地区環境制御技術研究会主催の勉強会が開催され、生産者7人が参加しました。JAは炭酸ガス施用技術導入前後の収量比較からみた炭酸ガス施用の増収効果を、農業改良普及課は平成28園芸年度の促成ナスにおける環境制御技術に係る実証ほの中間成績を説明しました。

生産者から、炭酸ガス局所施用、日射比例かん水制御や環境制御条件下の生育反応について質問が出され、熱心に情報交換を行い、さらなる収量、品質向上に向けて生産者の意欲を高めることが出来ました。

農業改良普及課は、今後もJA等関係機関と連携して環境制御技術の普及・定着に向けた支援を行っていきます。

土佐あき米ナス部会が現地検討会・勉強会を開催



調査結果を熱心に聴く生産者

4月18日、土佐あき米ナス部会が安芸市と安田町で現地検討会・勉強会を開催し、生産者12人が参加しました。

現地検討会では炭酸ガス濃度管理等について質問が出されるなど活発な意見交換が行われ、環境制御技術への関心が高まっていることがうかがえました。

勉強会では、農業改良普及課から生育と収穫所要日数の調査結果を報告しました。生産者からは「着果数が同程度の場合に炭酸ガス施用でどのくらい収穫所要日数が違うか知りたい」との意見が出されました。

農業改良普及課は、今後も調査を継続し、炭酸ガス施用の効果を明らかにするとともに、JAと連携して部会活動を支援していきます。

芸西集出荷場ピーマン部会が現地検討会と勉強会を開催



説明をする普及指導員

5月9日、芸西集出荷場ピーマン部会の現地検討会と勉強会が開催され、生産者24人が参加しました。

芸西村内の3ほ場を巡回した現地検討会では、参加者から炭酸ガス施用による生育促進効果などについて質問が出され、熱心に意見交換が行われました。

農業改良普及課は勉強会で、昨年問題となった腐敗果やチャノキイロアザミウマ対策について重点的に講習し、実践を促しました。参加者から腐敗果の発生防止対策や効果的な農薬の使用方法等について質問が出され、関心の高さがうかがわれました。

農業改良普及課は、今後もJA等関係機関と連携して基本的な栽培指導や環境制御技術の普及に向けて支援を行っていきます。

情勢報告

安芸ブロック・安芸集出荷場が合同ナス勉強会を開催



土づくり資材の話に聞き入る生産者

5月18日、JA土佐あき本所で安芸ブロックと安芸集出荷場の合同ナス勉強会が開催され、ナス生産者27人が熱心な意見交換を行いました。

農業改良普及課は、JAと連携して、次作でのナスフザリウム立枯病等の低減に向けた土づくりの参考としてもらうため、資材業者7社を呼んで各種土づくり資材や肥料の特性、活用法の説明会を開催しました。

農業改良普及課は、今後も6月の営農相談や個別巡回等を活用し、定植前の土づくりの重要性や適正な太陽熱土壌消毒法等の基本技術の徹底を周知していきます。

「平成 29 園芸年度ハウス野菜栽培管理こよみ」を作成中

栽培こよみを検討する
普及指導員と営農指導員

5月12日から、農業改良普及課とJA土佐あき営農指導員による「平成29園芸年度ハウス野菜栽培管理こよみ」（以下、「こよみ」）の検討会が始まりました。

「こよみ」は、項目ごとに担当者を割り当て栽培管理方法の検討や農薬の更新等のチェックを数回にわたって行い、最新情報を的確に盛り込めるようブラッシュアップしています。今回は生産者が活用しやすいよう、見易さ、分かり易さに重点をおいて検討をしています。

今後は、十分な校正を行い、7月中に「こよみ」の配布を目指します。

～輸出できるようなセンリョウを作ろう！～芸東集出荷場千両部会の現地検討会開催



遮光資材の劣化による陽射しの強さが気になる生産者の方々

5月15日、室戸市吉良川町で芸東集出荷場千両部会の現地検討会が開催されました。生産者9人が参加し、各ほ場の生育状況や管理作業の進捗状況、病虫害の発生状況などを確認しました。農業改良普及課が今年度からはじまるセンリョウに関する事業の中で、アザミウマ類と炭そ病について現在の地域の状況と本年度に取り組む内容の詳細を説明したところ、「今まで病虫害対策にこれ程踏み込んだ話は聞いたことがない」と、成果に期待する声が聞かれました。

今後、農業改良普及課は農業技術センターと連携して品質向上に取り組んでいきます。

情勢報告

百石地区で集落営農推進状況説明会を開催しました



集落営農説明会の様子

4月27日、奈半利町百石地区集会所で集落全戸を対象に集落営農推進状況説明会を開催し、住民17人の参加がありました。説明会は、集落営農準備会の有志で進められ、これまでの取組内容や集落ビジョン、今年の活動計画等を説明した後、意見交換を行いました。

住民からは「集落ビジョンはわかりやすく良い、作業に見合った料金設定にして継続してやって欲しい」や「収益があがる組織にするためには販売先も考えているのか」等の具体的な意見が出され、準備会では住民の理解が得られたと手応えを感じていました。

農業改良普及課では、6月の設立総会に向け、作業受託規定や事業計画の作成を支援します。

入河内地区集落協定役員会で集落営農について紹介



集落営農の取組経過について説明

5月9日に安芸市東川公民館で入河内地区集落協定の役員会が開催され、協定役員9人及び安芸市農林課、農業改良普及課が参加しました。

役員会では、今後の東川地区における集落営農の推進方向等について協議しました。

農業改良普及課は、東川地区のこれまでの取組経過や県内の集落営農の取組状況について情報提供をしました。安芸市役所からは、集落アンケート調査の実施について説明がありました。

参加した役員からは、「高齢化が進行し、集落の農地や農業を維持する仕組みを考える時期が来ている。まずは、アンケート調査で地区の実態把握をしたい」といった声が出されました。

農業改良普及課は、今後も地域の農地・農業の維持発展に向けた集落の話し合いを支援していきます。